

生活指導だより

平成27年2月6日

練馬区立大泉北中学校

2月は「ふれあい月間」です

今月は、今年度3回目のふれあい月間です。日頃の生活を点検し、4月からの次のステップに向け準備していきましょう。学校でふれあい月間が定期的に設定されているのは、学校に通う全ての生徒に、充実した楽しい生活を送って欲しいという願いからです。そして、ふれあい月間では、3つのことから皆さんの生活の様子について考える手立てとしています。

①「いじめ」はないか？

多くの生徒が生活する中で、様々な人間関係があります。しかし、その中で許されない関係の一つに「いじめるーいじめられる」の関係があります。この問題解決のため「いじめ防止対策基本方針」が作られ、全国でいじめ撲滅のために取り組んでいます。

②「暴力」はないか？

人間関係の中でトラブルは起こります。しかし、その解決手段として暴力はいけません。また、「人」や「物」に当たりストレスを発散するのも認められる行為ではありません。場合によっては刑法の傷害や器物破損の適用を受けなければなりません。

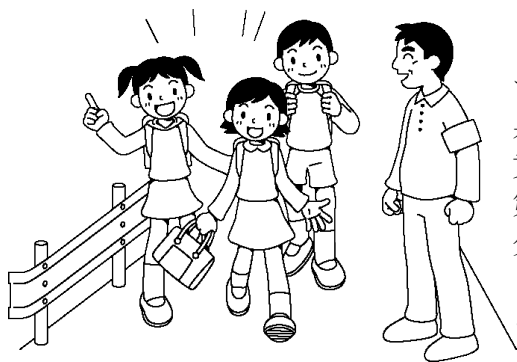
③「欠席日数」のあまりにも多い生徒はいないか？

欠席や遅刻、早退を3年間しないで「皆勤」という生徒もいます。しかし、どうしようもない場合もあります。そのどうしようもない場合以外の欠席や遅刻がある場合には、その理由を見付け改善に繋がります。

○人間関係は上手くいっていますか？

皆さんの生活の基盤となる家族関係、友だち関係などは良好でしょうか。日々の生活では、色々なことが起こります。ちょっとしたことで、良好だった関係が、突然、悪くなってしまうこともあります。皆さんにとって、友だち関係は特に気になるところだと思います。そのために、2月中に「いじめアンケート」を実施します。大北中では、いじめは重大な人権侵害と捉えています。大北中で生活する全員の協力で、誰もが安心して、楽しく生活し、充実した中学校生活を送って欲しいと願っています。

安全教育推進校のまとめ



東京都安全教育推進校のまとめとして、授業で分かったこと、自他の安全のために、これからどう行動していくか考えてきました。まとめた事柄をパンフレットとして、地域の大泉北小学校、大泉第一小学校へもお知らせし、地域の安全に貢献していきたいと考えています。安全についての考え方は、第一に自助（自分の身を守ること）です。そして、共助（自分の周りの人々の安全も守ること）となります。

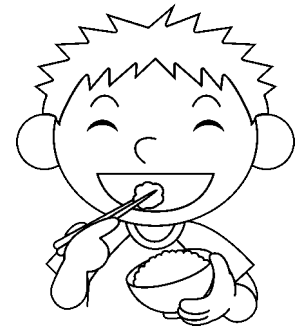
本校の生徒が、地域の中で頼りになる存在となってくれることを願っています。

練馬区における学力調査からの考察

今年度、中学校3年生（小学校では6年生）において実施した学力調査から、学習結果と普段の生活リズムや興味・関心が、関連しているという結果が分かりました。

○「朝食」との関係

「毎日、朝食を食べている」生徒と、「朝食を食べない」生徒では、学力調査の点数において、20点程度の差があり、朝食を食べている生徒の方が好結果となっています。これにより、朝食をしっかり摂る習慣が大切であることが分かります。



○「学校の授業時間以外の勉強」との関係

「学校の授業時間以外に3時間以上勉強をしている」生徒と、「全くしていない」生徒では、学力調査の点数において、20点程度の差があります。このことから、基礎的・基本的な内容を自分のものとしてできているか、そうするために時間を作り学習しているかが大切であることが分かります。

○「授業で分からないことがあったときどうするか」との関係

「自分で調べる」生徒の結果が一番よく、次に「先生に尋ねに行く」「塾の先生に尋ねる」となり、「そのままにしておく」生徒の結果がよくありませんでした。「自分で調べる」生徒と、「そのままにしておく」生徒では20点以上の差があります。このことから、学習への意識の持ち方が大切であることが分かります。

○「地域や社会で起こっている問題や出来事への関心」との関係

「関心がある」生徒と「関心がない」生徒では、15点から20点程度の差があります。このことから、多方面へ興味・関心を抱くことにより、情報を収集する力、多くの情報から取捨選択できる力が身に付き、その結果が学習面での好結果に結び付いていると考えられます。

○「携帯電話やスマートフォンの使用時間」との関係



1日の携帯電話やスマートフォンの使用時間が、「30分より少ない」生徒の結果が一番良く、「4時間以上」の生徒の結果が良くありませんでした。また、「30分より少ない」生徒と「持っていない」生徒を比較しても、「30分より少ない」生徒の方が好結果になっています。このことから、携帯電話やスマートフォンを自分でコントロールしながら使用できる、つまり「自律」できていることが大切だということが分かります。

このように、生活のリズム、興味・関心の持ち方や意欲は、学習に大きな影響を及ぼします。生徒のみなさんには、次のステップに向け、現在の学習状況や生活に関して点検し、今後、大きくステップアップしていけるように望んでいます。

学校公開日

年8回の土曜日が学校公開日とされています。今年度も今まで順調に7回の公開が終わり、今度の2月14日（土）が8回目の公開日になります。この日には、1年生では、地域で働く方々による職業講話が行われます。2・3年生は平常授業です。今年度最後の公開日となりますので、ぜひ、ご参観いただき、この1年間の生徒たちの成長をご覧いただきたいと思っております。

その他

すでに保護者の皆様はご存じのことと思われませんが、練馬区では、平成28年度より3学期制になります。そのため、本校においても、平成27年度内に、翌28年度からの3学期制に対応するため、年間行事の見直しなど本校における教育計画を点検し移行の準備を進めて参ります。現段階では、練馬区より詳細が知らされていないために、お答えできることは限られますが、学期制の変更等において、ご不安なことなどございましたらお知らせください。

最近のニュースから

皆さんは、最近ニュースや新聞記事を気にしていますか？その中から、中学生の皆さんも知って、なぜそうなるのか考えてもらいたいものがあります。また、機会を作ってご家族で話し合うとさらに考えが深まると思います。気にして欲しいキーワードは「モラル」「正義」です。これからの社会を作っていくのは皆さんです。

※モラルとは、道徳・倫理。道徳とは、社会生活の秩序を保つために一人一人が守るべき行為の基準、倫理とは、行動の規範としての道徳観や善悪の基準。

※正義とは、道理にかなっていて正しいこと。義とは、人間の行為の中で万人にとって良いとされる所のもの。
(三省堂新明解国語辞典より)

○イスラム国日本人質殺害事件

「冒頭なんですけど、すみません。昨日から今日にかけて大きいニュースになってきた後藤健二さんなんですけど、ちょっと、あえて、冒頭で、一言だけ……。

僕も後藤さんとはおつきあいがあったものですから、一番、いま、強く思っていることは、ニュースではテロ対策とか過激派対策とか、あるいは日本人をどうやって守ればいいのか、が声高に議論され始めているんだけど、ここで一番、僕らが考えなきゃいけないことというのは、後藤健二さんが一体、何を伝えようとしていたのか、ということ。

戦争になったり、紛争が起きると弱い立場の人がそれに巻き込まれて、つらい思いをするということを、彼は一生懸命に伝えようとしていたんじゃないか。

それを考えることが、ある意味で言うと、こういった事件を今後、繰り返さないための糸口が見えるかもしれない……。

われわれ一人ひとりにできることというのはものすごい限界があるんですけど、この機会にそういうことを真剣に考えてみてもいいのでは……。

それが後藤さんが一番、望んでいることじゃないか。そう思ったものですから、冒頭なんですけど、ちょっとお話をさせてもらいました。」
(NHKの「あさイチ」より柳澤秀夫解説委員の言葉)

○女子大生による殺人事件

女子大学生（19）が殺人の容疑で逮捕された事件で、自宅から過去の殺人事件に関する複数の本が押収されていたことが新たに分かった。

この事件は、名古屋大学に通う19歳の女子大学生が先月、自宅のアパートでMさん（77）を殺害したとして逮捕されたもの。調べに対し学生は「子どもの頃から人を殺してみたかった」「高校の頃同級生に毒を盛った」などと供述していたが、その後の捜査関係者への取材で、警察が学生の自宅から過去に起きた殺人事件に関する複数の本を押収していたことが新たに分かった。

また、Mさんを殺害した理由について学生は「偶然来たから殺した」とも話していて、警察は、殺人に強い関心を持っていたとみて経緯などを慎重に調べている。
(インターネットニュースより)

○つまようじ混入事件

商品棚に並ぶ菓子へのつまようじ混入や、万引のような行為の動画を投稿したとみられる無職少年（19）が18日朝、滋賀県内で発見、コンビニへの侵入容疑で逮捕された。各地を転々としながら直前まで約60本もの動画を投稿。「警察はまだ私を捕まえられない」などと挑発的な発言を繰り返し、自身の逃走劇を“実況中継”していたとみられ、警視庁が詳しい動機や足取りを調べる。

18日午前7時半。滋賀県のJR米原駅に停車中の電車内で、県警の警察官が少年を見つけた。黒いジャンパーに茶色のズボン。「〇〇（少年の実名）君？」。呼び掛けに、逃げたり暴れたりするようなそぶりを見せず、うなずいたという。

警視庁が全国に指名手配して行方を追っていたところ、18日早朝、名古屋から京都方面に向かうJRの電車内に似ている人物がいるとの情報が寄せられたのがきっかけだった。

少年は任意同行された米原署でも反抗せず、取り調べに素直に応じた。県警幹部は「見た目も普通でおとなしい。とても騒ぎを起こすようには見えなかった」と話す。

移送のため少年を乗せた新幹線は18日正午すぎ、品川駅に到着。黒い上着のフードを目深にかぶった少年はホームに降り立つと、捜査員に両脇を支えられながらうつむき加減でゆっくりと歩いた。その後、武蔵野署に身柄を移された。

警視庁によると、少年とみられる投稿者は昨年12月中旬から動画投稿サイト「ユーチューブ」に一連の動画を投稿。スーパーのスナック菓子につまようじを刺して押し込んだり、コンビニでペットボトル飲料を持ち去ったりするような様子が写っていた。(インターネットニュースより)

※参考読み物

江戸時代、会津藩(だいたい現在の福島県)において、「什(じゅう)」(会津の子どもたちまとまり)のみんなが守らなければならない約束事があり、「什の掟(おきて)」と言いました。少し前のNHK大河ドラマ「八重の桜」で有名になりました。

- 一、年長者(としうえのひと)の言ふことに背いてはなりません
- 一、年長者にはお辞儀をしなければなりません
- 一、嘘言(うそ)を言ふことはなりません
- 一、卑怯(ひきょう)な振舞をしてはなりません
- 一、弱い者をいじめてはなりません
- 一、戸外で物を食べてはなりません
- 一、戸外で婦人(おんな)と言葉を交へてはなりません
ならぬことはならぬものです

戸外で婦人(おんな)と言葉を交へてはなりませんは、現代と大きく違うことですが、その他は、現代にも通じることのように思われます。

- 年長者から話が合ったら、しっかり聞きましょう。
- あいさつは、しっかりしましょう。
- ウソを言ってはいけません。
- 卑怯なことはしてはいけません。
- いじめてはいけません。
- 外でだらしなく食べ歩きをしてはいけません。

という感じでしょうか。そして、何よりも「ならぬことはならぬものです」これは、自分勝手な判断をして、自分なりに理由を付け、自分を正当化するのではなく、誰がやっても「ダメなことはダメなのです」ということです。

☆学校へのご意見などございましたらお願いします。☆(切り取ってご使用ください。)